



0255

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

047

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3

本堂修補募縁序

夫大聖不動明王ハ大盤石ニ座レ火生三昧ニ住レ
手ニ智恵ノ利剣ヲ持レ大忿怒ノ相ヲ現レ玉ツハ
是全ク惡魔降伏レ障辱煩惱ヲ燒盡レ天福皆來地
福圓滿ヲサレノ給フ三昧耶ナリ文ニ曰ク是大明
王無其所居但住衆生心想之中ト説キ玉ヘリ然ハ
信ズル者ノ心ノ中ニ住レ七難即滅七福即生ノ御
加護顯然タルヲ豈疑ホアラシヤ學ニ良意山不動
院ノ神刹ヲ訪フニ往昔正保年間ニ高野山南院ノ
碩德前左學頭良意大和尚當山ヲ開基靈尊ヲ安置

0256

安樂川村文書Ⅱ

文書
番号

047

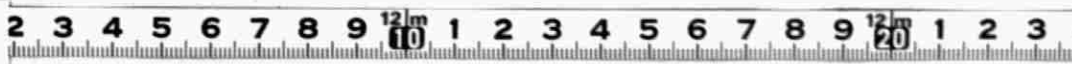
2 3 4 5 6 7 8 9 12 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12 20 1 2 3

レ奉リ號而良意山不動院ト云リヤ爾リ而テ頌曆
二百有餘歲ノ今ニ臻ル迄靈驗日々ニ新ナルヲ恰
モ谷ノ響ニ應ズルガ如ク精信ノ輩ハ諸願成就盜
難病難水火風難種々ノ災禍ヲ遁レ家運長久子孫
繁榮福壽増進ナサレノ玉ヲ就中懷妊ノ婦女常ニ
此ノ尊ヲ念レ御守護ヲ受持スレバ産前産後ノ憂
苦ヲ除キ平カニ出產セレメ母子共ニ必ズ安穩ナ
ラ令ントノ御誓願ナリ茲ニ因テ世ニ傳ヘテ安産
子易ノ不動尊ト稱レ遙遠ヲ厭ハズ山間ノ露路ヲ
凌キ險阻ヲ攀躋リ御寶前ニ詣禮拜恭敬レ奉速ニ

其ノ利益ヲ蒙ル者幾千万人數學ニ逸アツズ然リ
ト雖モ許多ノ星霜ヲ經過レ本堂大破ニ逮ヒ座レ
ア雲間ノ月ヲ見雨洞濕々タリ實ニ哀哉憂患ノ情
堪ヘ難レ如何カ斯ヲ修補セント且夕肝膈ヲ碎キ
心慮ヲ惱マスト雖モ十目ノ見所僻地狹窄議成敵
邸ノ微力ニ及バズ依テ今般良意講ヲ相企テ有志
諸君ノ盡力ヲ請テ本堂修膳レ大聖明王威光倍増
ノ法樂ニ備ヘ奉ント欲ス伏而願クハ有信ノ各位
勤^カノル功德共ニ成佛ノ悃志ヲ勵マレ該講入社ノ
儀偏ニ宜敷奉希セント云爾

0257

安樂川村文書Ⅱ 文書号 047



和歌山縣下紀伊國那賀郡脇谷村

良意山不動院脇谷寺兼務

掘部 寶圓



維明治十六癸未年春三月

良意講會規

- 一 良意講仕法之儀ハ左ノ規約ヲ以壹株金三圓掛トス
- 一 會員凡五拾名ヲ以壹卷トス
- 一 會員ハ其地方ノ宜レキニ因リ大部五名毎ニ會員總代壹名ヲ置キ爰ヲ以壹組箱トス
- 一 會數ハ毎年參會ニレテ其會日三月十六日八月十六日十一月十六日トレ尤舊曆ヲ用フ
- 一 稻掛壹株ニ付壹會金三圓トス
- 一 買稻トモ掛金ハ會日序掛ケトス

0258

安樂川村文書Ⅱ

文書
番号

047

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3

但午前九時ヨリ午後三時限受取方可申候事
一會本親掛金ハ初會金壹圓五拾錢貳番會ヨリ第
四番會ニ至ル迄金五拾錢宛申受候事
一會本親掛ケ戻レ金ハ各講員箱株同一ニ掛ケ
戻可申事

一入札ハ買下ケ法ニテ壹會前ニ投票シ其取受金
及實掛金額ヲ極ムル事
一入札用紙ハ半紙堅ツ四ツ切ニシテ各姓名ノ下
ニ御押印ヲ要ス
一開札ハ午后三時トス此時間ヲ過テ投票セシ御

方ハ除札トシ其儘返戻可致事

一取受金高相應ナル抵當物ヲ書入該抵當及掛金
等引受証人ヲ要スル証書ヲ差入ルベキ事
一書入抵當物ハ不動産ニシテ壹ケ年掛ケ戻シ金
額ニ充ツル程収利ノ見込アルモノトス
一書入抵當物ハ會員總代壹名及會本會計係立會
實地調査可致事
一他所書入證書エハ御成規之通役場公證ヲ受ケ
タル者ニシテ該地券ノ証附屬之事
一書入抵當物及證書ハ渾テ會員總代ノ名宛ヲ要

0259

安樂川村文書Ⅱ

文書
番号

047



スト雖モ該証書及附屬セシ地券狀共該講會計
 係へ預リ置可申事
 一 集金ハ會日証書ト速ニ交換可申事
 一 會本則親賢ハ該講會計係ヨリ田耕地ニシテ其
 地價額凡參百圓余ノ抵當各會員衆中へ費入盟
 尤役場公証ヲ得^ル。確証ヲ要ス
 但講社員衆中ノ御見込ニ隨ヒ抵當物ノ多少
 其協議上ニテ取極メ可申事
 一 會場ハ則テ其意山不動院脇谷寺ニ於テ相替可
 申事

一 會員膳料ハ壹人毎ニ付立米
 但立米ハ其時相場ヲ以申受候事
 一 會員膳分ハ一汁二菜中猪口外ニ酒三献トス
 一 會費ハ落札高之内ヨリ引去可申事
 右規約書之通可確守者也

明治十六年三月

良意講會計係

那賀郡協
 谷打良意
 講會計係

立米若干ハ實
 價額ニ隨テ

0260

安楽川村文書 II

文書
番号

047

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3



菅谷新左衛門



田中徳左衛門



谷中芳左衛門



田中重左衛門



中谷清五郎



原田國右衛門



0261

安楽川村文書Ⅱ

文書号

047

